

CHALLENGE21



第5・16合併号

定価 200円

チャレンジ21 / 2004年4月1日発行 / 第1巻第9号 / 発行：NPO法人 全国障害者福祉援護協会

障害者と健常者が共生できる 社会環境づくりに貢献

中国地区本部からの活動報告



▲ヘルプステーションスタッフ一同 (右上：妹尾本部長)

NPO法人全国障害者福祉援護協会は当協会設立2年後の平成10年に岡山県岡山市に中国地区本部を設立。本部長の妹尾基司を中心に福祉活動に積極的に取り組んできました。なかでもここ3、4年間の活動はめざましく、妹尾基司が経営するヘルパー派遣会社と中国地区に新たに設立した各支部との連携で取り組んでいる高齢者・障害者福祉活動は、まさに「ノーマライゼーション理念に沿った「障害者と健常者が共生できる社会環境づくり」に大きく貢献するものであります。ここにその活動の一部を紹介いたします。

送迎ボランティア 派遣で大活躍!!

中国地区本部は岡山、倉敷、福山など中国地区に点在する七支部そして九州本部と連携して、各支部に設置されたヘルパー派遣会社「ヘルプステーション」の利用者、特に一人での歩行が困難な高齢者や障害者の通院、買い物など外出時の送迎を一手に引き受け、無料で送迎ボランティアを各ヘルプステーションに派遣しております。

この活動は介護保険のテーマである「寝たきりの高齢者を増やさない、自立へ向けての支援」を目標に、ヘルパーと一緒に「家から外への初めの一歩」をお手伝いするサービスを心がけています。そしてノーマライゼーションの理念に沿った高齢者や障害者の社会参加とADL（日常の生活動作）低下防止に役立てようと、定期的にヘルパーの勉強会に参加し、ボランティアの質の向上にも努めています。



▲送迎ボランティア

【中国地区】
岡山本部 ヘルプステーションサーヴ
西大寺支部 ヘルプステーションあすなろ
倉敷支部 ヘルプステーションヒューマンケア
足守支部 あしもりヘルプステーション
笠岡支部 ヘルプステーションなぎさ
福山支部 ヘルプステーションつばさ
山陽町支部 ヘルプステーションピーチケア

【九州地区】
鹿児島本部 ヘルプステーションポパイ
佐賀支部 ヘルプステーションとんぼの里

障害児を対象とした デイサービスの開設

中国地区本部長の妹尾基司は平成12年9月に高齢者・障害者の介護を目的とした「ヘルパーステーション」を設立し、平成15年4月には支援費制度の施行を受け障害児へのデイサービスを開設しました。

具体的な活動として養護学校にいる小学生・中学生を車で迎えに行き、近くの施設「momo」で父母が迎えに来る夕方までの間預かっています。親や学校以外の人たちと関わることで、子供たちの日常生活における基本的動作の指導と社会への適応性が育まれていくことを望みながら日々葛藤の連続で活躍しています。



▲デイサービスmomo

現在20名ほどの子供たちを預かっています。子供たちの純真さや目の輝きを目の当たりにし、私達が忘れていた何かに気づかされる一面もあり、共に得るものは言葉には言い表せないものだと、妹尾本部長は話していました。



開催 おさむおにいさんといっしょ バリアフリーコンサート

NHKでおなじみの「坂田おさむおにいさん」のコンサートを平成16年3月21日、岡山県立岡山養護学校体育館で開催しました。知的障害者・児、肢体不自由者・児とその家族総勢300名余りが参加し、おさむおにいさんと一緒に唄ったり踊ったり会場は大変な盛り上がりでした。



▲養護学校の小学生と中学生

「おにいさんがNHKの「おさむおさむといっしょ」の中で唄う曲以外にも、日頃子育てで大奮闘のお母さんたちにガンバレエールを込めた曲などを唄いだすと、会場のあちこちで涙が見られ、おにいさんも感極まり涙ぐんでしまうシーンも見られました。参加者もスタッフも一つになり全員が笑顔になり、子供たちは大喜び、お母さん方には癒された楽しいコンサートでした。



▲おさむおにいさんといっしょ

第3回神奈川県手話弁論大会開催

神奈川県聴覚障害者連盟との共同開催による「手話弁論大会」は3回目を迎へ8月31日横浜市開港記念会館で実施いたしました。聴覚障害者、健聴者のそれぞれの弁士が出演し、大勢の聴衆を前に熱弁をふるっていただきました。



横浜市開港記念会館

「第3回神奈川県手話弁論大会」は神奈川県聴覚障害者連盟をはじめ横浜、川崎の各聴覚障害者協会、手話通訳者協会など多くの団体のご協力とご指導をいただき開催することができました。会場は大正六年に建造され国の重要文化財に指定されている横浜市開港記念会館。近代的なビルが建ち並ぶ横浜市の一角にそそり立つ通称ジャックの塔と言われる煉瓦造の時計塔はひときり存在感を表していました。十二時三十分開演。主催者の挨拶のあと華やかなステンドグラスから差し込む明かりと館内の照明を受けて聴覚障害者名、健聴者36名が大勢の聴衆を前に自由なテーマでそれぞれの思いや夢を熱く語って頂きました。



神奈川県立高浜高等学校
「手話コミュニケーション部」

「ろう者の部」「健聴者の部」と部門を二つに分け、9名の弁士による2時間の弁論大会は時間経過も忘れるほど、あっという間に終了。神奈川県聴覚障害者連盟理事長の野澤克哉氏を審査員長に他7名の審査員が別室で審査を行っている合同を利用して、神奈川県立高浜高等学校と都立野津田高校の生徒たちに「手話コーラス」を演じてもらいました。歌あり踊りあり劇ありの手話を使ったの演技はミュージカルそのもの。たいへん楽しく会場をわかせていました。



▲観客を前に発表する弁士

表彰式では各社より提供いただいた賞品を副賞に発表者全員が受賞しました。受賞者は以下の通りです。

手話弁論大会受賞者

◆「ろう者の部」

- 最優秀賞 加藤小夜里 (神奈川県平塚市)
- 優秀賞 二尾 和子 (横浜市中区)
- 敢闘賞 城倉 孝次 (神奈川県鎌倉市)

◆「健聴者の部」

- 最優秀賞 千田 愛美 (神奈川県中郡)
- 優秀賞 松田 恵 (神奈川県平塚市)
- 敢闘賞 小森恵美理 (神奈川県茅ヶ崎市)
- 奨励賞 菊地 勇太 (神奈川県平塚市)
- 奨励賞 島 康一郎 (神奈川県川崎市)
- 奨励賞 須藤 有記 (神奈川県平塚市)



▲都立野津田高等学校「手話部」



▲審査員の皆さん

「賞品を」提供いただいた皆様

株式会社高島屋横浜店、株式会社東京信友、株式会社伊藤ビル、JFEスチール株式会社、JFE東日本製鉄所京浜、JFE東日本製鉄所京浜労組、N T T 労組、神奈川県支部、ブリヂストン労働組合、横浜市労働組合連盟、横浜交通労働組合、横浜水道労働組合、地域連合横浜地域連合川崎、連合神奈川、川崎労働福祉協議会、鉄鋼労連、全労済神奈川県本部、自治労横浜、神奈川県労協

ありがとうございます。
今回最優秀賞を受賞されたお二人の発表内容を別頁に掲載させていただきます。

「ろう者の部最優秀賞」

加藤 小夜里 (神奈川県平塚市)

「将来の夢話」



▲加藤小夜里さん

私の将来の夢はろう学校の教師になることです。

多くのろう者は手話を使ってコミュニケーションを取って

ます。手話こそが自分の意思を表示できるものであり、ありのままの自分、自然体でいられるのだと思います。しかし、現在のろう学校には手話のできる教師がそう多くはいません。状況はよくなってきていますが、一昔までは手話を排斥し口話法で進めてきました。私もその教育を受けた一人です。しかし、私は他の子とは少し違う面がありました。それは、家族みんながろう者だというデフファミリーの環境の中で育ったことです。手話は家族みんなの共通の言葉なので、屈することなくのびのびと成長することができました。手話のよさはデフファミリーが象徴しているのではないでしょう。しかし、デフファミリーは1割程度にしかいなく、多くのろう者は聴者両親のもとから生まれてきます。だからこそろう学校の存在価値が高くなります。デフファミリーのような環境をろう学校にも整えるべきであり、そして、手話に精通した教師を多く配置することが現在のろう学校の課題ではないかと思えます。このような経緯から、ろう学校の教師を目指そうと真剣に考えるようになりました。

「健聴者の部最優秀賞」

千田 愛美 (神奈川県中郡)

「手話・・・私と息子」

4年前の10月、私は子供を背



▲千田 愛美さん

負って初めての手話講習会に通っていました。
その後も子連れで手話を勉強し続けようと思ったのには、ある目論見があり、またある映画が私自身が手話の世界へ引き込まれ同時に息子にも手話という魅力ある言葉に触れていて欲しいと思うきっかけになったからでした。

「子供と一緒に勉強するのは無理」と思った頃の私は、自分が勉強出来ないのを子供のせいにして怒ってばかり・・・目論見は夢で終わってしまいそうでした。

ところが息子が私よりも先に覚えた言葉があり、驚きと嬉しさで希望が生まれました。息子が自分から使うようになった言葉も増え、聾者の方々の中に彼一人ということがあった時も、身振り手振りで会話らしき事をしていてはいないですか! 「迷惑では?」と相手に尋ねた私に、「大丈夫よ」との答え、びっくりしてしまいました。将来、私の目論見が実現できる日も遠くはないかもしれません。皆さんとの交流を大切に、手話を学んでいきたいと思えます。

ボランティヤ活動報告

障害者の介助・イベント運営のスタッフとして登録要員の皆様と活動を行っております。

**市長杯盲人ボウリング大会
(5月25日)**

恒例の盲人ボウリング大会は前回到引き続き浜視協(社団法人横浜視覚障害者福祉協会)との共同で新横浜プリンスホテルボウリングセンターで開催しました。視覚障害者30名が参加。全盲・中盲・弱視の三人一組でチームを結成し2ゲーム行なわれました。

今回はボランティヤの方々も一緒にプレイに参加。プレイをしながら視覚障害者の誘導と介助は忙しかったけれどとても楽しい雰囲気の大大会でした。



▲介助するボランティア

**さくらんぼ狩り&登美ヶ丘
ワイナリー (6月1日)**



視覚障害者とボランティヤ総勢50名を乗せたバスは朝早く横浜市桜木町前を出発。

山梨県南アルプス市にあるサクランボ農園に行ってきました。背の高さにぶら下がるように実ったたくさん真つ赤なサクランボは今が食べ頃。木によって甘い実やそうでないのがあり、採りやすい高さにある甘いサクランボは寄ってたかって、あつという間に食べ尽くされてしまい、まだまだ食べ足りないとはかりに背を伸ばして採ったり、少々甘くないものでも食べて全員が満足したようです。

そんなに広くはない農園だけれど50名の人があんなに採っても、まだまだ真つ赤なおいしそうなサクランボはあちこちの木にたくさん残っていました。

サクランボ農園を後に次に向かうところはサントリー登美の丘ワイナリー。

さすが日本最大規模の自家ぶどう畑を持つと言われているだけあってとても広い。その広大な敷地の中にワイン醸造所、ワインガーデンやレストランなどがある。ワイン工場見学をした後真つ先に目指したところはワインの無料試飲。

試飲だけが楽しみで今回の企画に参加した、と言う声も聞ける中で、赤と白、甘口辛口、ワインの味は詳しくは分からないけれどとてもおいしく、ほろ酔い気分それぞれがチーズやワインをおみやげに選んでいました。

みやげの袋をいっぱい抱えて一路横浜へ、サクランボにブドウとてもヘルシーなボランティヤ活動の一日でした。

**箱根芦ノ湖散策
(10月19日)**

視覚障害者と横浜から箱根までバスで移動。湖尻から緩やかな上り坂をハイキング。杉並木に囲まれた遊歩道はほとんど陽が差してこないけれど、この日は好天に恵まれ暖かくほんの少し汗ばむ程度で散策には最高の日和でした。疲れもないままにお昼の休憩、弁当をひろげ休憩もそこそこに箱根園までまた歩く。そこからバスに乗り元箱根へ、ここでは芦ノ湖のさざ波を聞きながら石畳の遊歩道を散策。帰りは途中でかまぼこの老舗に立ち寄り一路家路へ。ほかほか陽気が気持ちよくほどよい疲れと、かまぼこを肴に家で飲む酒はとても美味しかったです。

第二〇回横浜市身体障害者運動会のボランティヤ参加ありがっさいびびります。

今年で20回目を迎えた身体障害者運動会は10月5日横浜ラポールグラウンドで行われました。当協会はこの運動会に後援団体として支援しており、参加した



▲芦ノ湖遊歩道



▲パン食い競争



▲ボランティアも一緒に参加

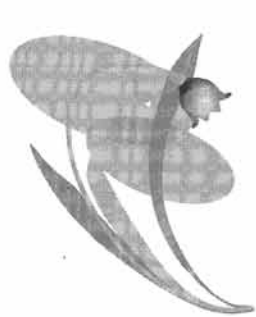
障害者は600人ほど。そして100人近いボランティヤが運営スタッフとしてまた障害者の介助役にと大活躍でした。また今回も多くボランティヤを派遣していただいたJFEスチール横浜労働組合とNTT労働組合、奈川総支部の皆様には深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

「深川江戸資料館」と「深川めし」(2月15日)

深川江戸資料館は約150年前の江戸深川のたずまいを忠実に再現された資料館。一つ一つの建物が実際の大きさに造られており中に入ることができる。そして展示されている生活用品に触れることができる。という理由で平成16年2月15日視覚障害者と横浜からこの資料館のある東京江東区へ行ってきました。中にはいると地下1階から地上2階まで高い吹き抜け空間に江戸下町の長屋が建ち並び、今も路地裏から長屋の八っさんやご隠居さんが挨拶してきそうに庶民の生活のにおいが手に取るよう、まさにタイムスリップ



熊さん八っさんの声が聞こえてきそう



▲昔懐かしい長火鉢に触れてみる

したような感覚になってしまいました。ニワトリの鳴き声はどこからともなく聞こえてくると全体的に薄暗かった町並みが徐々に明るくなり夜から昼の情景に変わっていききました。そんな大きな資料館ではないけれど、なかなか見応えがあり楽しみながら江戸の文化を学ぶことができました。資料館見学の後、深川名物アサリの混ぜご飯「深川めし」を昼食に、ここでも江戸文化の情緒を味わってきました。深川めしで満腹にした後、近くの富岡八幡宮でお参りをし門前仲町界隈であんみつを食べたり、買い物などをして江戸をあつちしました。

「元子さんと大山さん一家」がボランティア活動



▲古川元子さんと大山さん一家

ゴスペル湘南所属の古川元子さんが大山さん一家(ご主人と奥様と5才の子供さん)を伴って、3月14日に開催されました横須賀市の視覚障害者研修会でのミニコンサートでボランティアとして参加して頂きました。森山直太郎の「さくら」を始め「スマップの世界に一つだけの花」を子供さんが熱唱し、全部で5曲披露して頂きました。参加者からは大きな拍手を戴き最後にはアンコールの声に「Oh, Happy Day」を全員で合唱して締めくくりました。これからも古川元子さんはこうしたボランティアにたくさん参加したいとの事です。ご希望される方はNPO法人全国障害者福祉援護協会までご連絡ください。

防災・防犯・福祉のつどい



平成16年2月22日法NPO法人都市防災研究会主催の「防災・防犯・福祉のつどい」に視覚障害者と一緒に参加しました。横浜市内の沢渡公園、防災センター、社会福祉会館の3会場で消化実演、避難訓練、災害劇場、防災福祉セミナーなど多彩なイベントが催されました。災害時には健常者でさえどのように避難したら良いのか、とつさの判断に迷ってしまうことは多くの人のために指摘されています。ましてや障害者にとつて災害時の避難は何倍も大変な事なのです。今回のイベントに参加した視覚障害者は災害時の避難の仕方、ケガをした人をどのように搬送する

かなどの実施訓練の機会をもつことができ、大変良い経験をしたと喜んでいました。こうした経験が災害発生時に冷静に判断でき二次災害から身を守る事につながっていくのではないかと考えます。また阪神・淡路大震災の被災経験からの語り部の話では一つ一つが真に迫り聞き応えがありました。同時に私たちが被災した場合の行動の取り方に大きな示唆を与えていただき大変貴重な話を聞くことができました。

高島屋 手話教室

6回目となる横浜高島屋の手話教室。従業員30名を対象に今回は店内での災害を想定し緊急に避難しなければならぬときに備えて、聴覚

らえるはず。災害はいつ自分の身に降りかかってくるか分かりません。健常者も障害者もお互いにコミュニケーションを取っておくことの大切さが今回の手話教室で学ぶことができました。

障害者が一目見て理解できるように(案内)誘導(避難)などの手話を中心に行いました。

いつ起きるか分からない災害、健聴者でさえ確かな情報が入らないとパニック状態に陥ってしまうのに耳の不自由な人にとってはなおのこと。九年前に起きた阪神・淡路大震災や六年前の東海村臨界事故では聴覚障害者に限らず視覚障害者など多くの障害者が戸惑い不安になったと聞いています。また障害がある故に逃げ遅れ二次災害に遭い不幸な目にあった方々も数多くいたとの事です。

もしも突然に災害に遭い近くに聴覚障害者がいたとき、災害時の手話を知っていれば一緒に避難することができます。でも手話を知らなくても、知らんぷりをせず身振り手振りでもなんとか解っても

火事



災害



避難



第9回 盲人チャリティゴルフ大会

当協会の恒例となった盲人チャリティゴルフ大会は九回目を迎え、

ライゼーションの理念を理解する上で大変有意義なイベントと考えております。本来ならば参加した健常者全員が障害者と一緒にプレイすることができればなおのこと良いのですが、まだまだゴルフをする視覚障害者の人口は少ないようです。

好天の11月14日神奈川県葉山国際カントリークラブで開催しました。視覚障害者21名を含む総勢144名が参加。視覚障害者は全盲や弱視と障害の差はさまざまだけれども、同じ組でプレイした晴眼者は、ハンディを感じさせないプレイを目の当たりにし改めて驚きを隠せなかったようです。

この大会で集められたチャリティ募金は(財)日本盲導犬協会、神奈川県視覚障害者ゴルフフェアーズ協会、かながわともしびセンターに寄付されました。また今回も多くの企業・団体から賞品をご提供いただきました。紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。

日頃障害者に接していない晴眼者(健常者)にとって今回のようにゴルフを通して障害者と接することは、ノーマ

ライゼーションの理念を理解する上で大変有意義なイベントと考えております。本来ならば参加した健常者全員が障害者と一緒にプレイすることができればなおのこと良いのですが、まだまだゴルフをする視覚障害者の人口は少ないようです。



▲パートナーが方向と距離をサポート

全労済



人生の節目には、 保障を見直そう。

「こくみん共済」は「ここがちかう」という点がたくさんあります。負担が少なく、大きな保障が得られる。保障範囲がワイド、手軽に申込み手続きができるなど。全労済ならではの加入者の立場に立った思いやりが信頼され、全国のたくさんの方々には選ばれ続けています。あなたも、選ばれる理由をじっくり確かめて、暮らしの安心を育てませんか。

選ぶならやっぱり
こくみん共済

個人定期生命共済

人にやさしく。地球にやさしく。



全労済は「自然環境」と「高齢者」のための活動・研究を応援しています。

「保障の共済」
だから、ね。

全労済神奈川県本部
045-473-6031
〒222-0033 横浜市
港北区新横浜2-4-9

賞品をご提供していただいた皆様です(順不同)

神奈川県、横浜市、川崎市、中央労金神奈川地区本部、全労済神奈川県本部、エル・ビー・エー、神奈川県労働者福祉協議会、神奈川県労働福祉協会、いこいの村あしがら、東京コカ・コーラボトリング(株)、富士コカ・コーラボトリング(株)、ネスレパレヅ(株)、三國コカ・コーラボトリング(株)、大蔵屋商事(株)、キリンパレヅ(株)、サッポロビール飲料(株)、牧島功県議後援会、倉田仁県議後援会、川辺芳男市議後援会、森敏明市議後援会、大村貞雄市議後援会、JFEスチール(株)、JFEスチール労働組合連合会、JFEスチール京浜労働組合、ワークピア横浜、竹花敏夫、有限会社社会社藤間企画、連合神奈川、葉山国際カンツリー倶楽部(株)伊藤ビル、川崎地域連合、川崎労協、ミスノスポーツ



▲牧島功氏(右)より盲導犬協会へ寄付

この潤いが小さな社会貢献へ



JAPAN KINDNESS

NPO法人

ジャパン・カインドネス協会

社会貢献型・自動販売機の設置にご協力ください。

多くの人がボランティア活動に参加してみたいとの希望を持っていても実際に参加した人は約10%位だといわれています。

こうした多くの人の希望を自動販売機を使って叶えることができたらとの思いで特定非営利活動法人(NPO法人)ジャパン・カインドネス協会は「ゆび

募金」活動を推進しています。

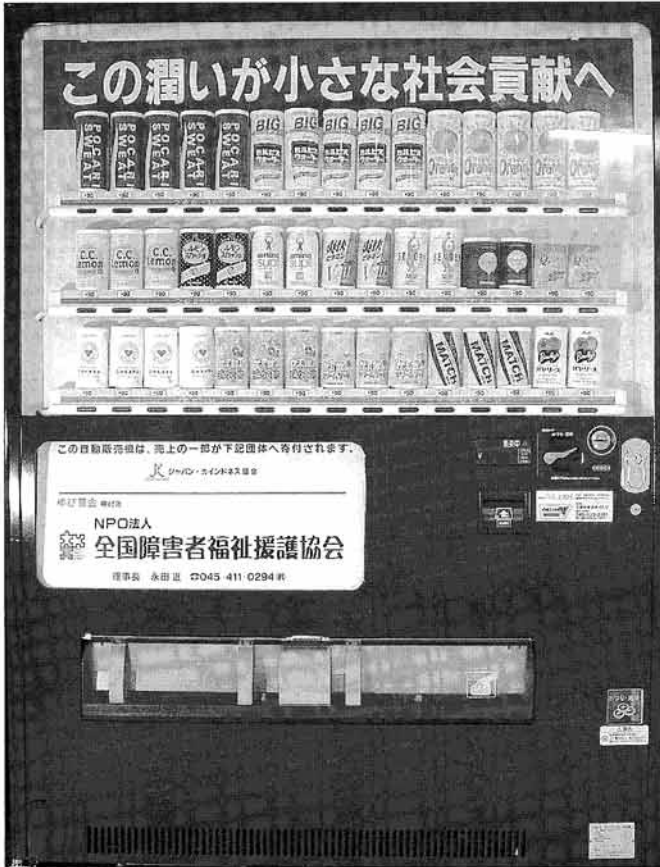
現在、全国に約200万台の自動販売機が設置されています。その内の何%かが社会貢献型の自動販売機になったら清涼飲料水を購入することで誰でも「ゆび募金」活動を通じてボランティア活動に参加できることとなります。

さらには、こうした自動販売機を設置しご協力いただきますロケーターの方々にもボランティア活動に参加する機会を提

供できることとなります。

ジャパン・カインドネス協会は特定非営利活動法人(NPO法人)の資格取得を契機に、私どもの思いであります「この潤いが小さな社会貢献へ」をスローガンとして自動販売機による「ゆび募金」活動を更に拡充し、社会福祉運動へ取り組んでおられる人達への支援を続けていきたいと念願しています。

そのためには1台でも多くの社会貢献型自動販売機を設置することが重要なことであります。飲料メーカーそして設置個所を提供していただきますロケーターの皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



応援しよう! 個性が輝く「ひと・まち・くらしづくり」

ろうきん NPOサポーターズ

「ろうきんNPOサポーターズ」は、いきいきとした個性豊かな「ひと・まち・くらし」づくりに取り組むNPO(民間非営利組織)の支援・促進を目的とする社会貢献定期です。

「ろうきんNPOサポーターズ」のしくみ



みなさまからお預かりした定期預金の満期利息(税引後)の30%は、NPOに対する助成財源の一部として活用されます。

ホームページへアクセス!!
<http://chuo.rokin.com>
 ローンシミュレーションサービス
 ローン相談受付サービス実施中

詳しいお問い合わせは

●フリーダイヤル 0120-86-6956
 月～金曜日AM9:00～PM5:00
 (土日祝祭日休)

あなたの暮らしのまんなかに
中央労働金庫
<http://chuo.rokin.com>

■制度内容

お預け入れ商品	スーパー定期、スーパー定期300、大口定期預金
お預け入れ金額	1万円以上、1円単位(個人・団体とも)
お預け入れ期間	1年、自動継続方式(元金継続・元利継続)
金利	店頭表示金利
寄付金	1年後の満期日に、利息(税引後)の30%が、日本NPOセンター(※)が運営協力する「ろうきんNPOサポーターズ基金」に振り込まれます。
寄付金の活用方法	「ろうきんNPOサポーターズ基金」に積立てられたみなさまの寄付金と、「中央ろうきん社会貢献基金」からの拠出金の合計を財源とし、年間NPOに対する助成をおこないます。
お取り扱い期間	2002年4月1日～2006年3月31日 (預入終了日:2005年3月31日)

※日本NPOセンターは、NPOの活動基盤の強化等を目的に96年に設立した中間支援組織です。



「ろうきんNPOサポーターズ」は、「ろうきんサクセスポイント貯めCiao!」の対象商品です。詳しくは、お取引のろうきんへお問い合わせください。

ご協力ありがとうございます。 今後ともご支援ご協力のほどお願い申し上げます。

- JFE エンジニアリング津本社労働組合
- (株)シガドライセンター
- ヘルパーステーションサーヴ
- JFE エンジニアリング鶴見本社労働組合
- (有)湘南百貨店三島店
- (株)ベルホール
- JFE スチール労働組合連合会
- 鈴江コーポレーション(株)
- (株)マーク・テック
- JFE スチール(株)
- 住友重機械労働組合連合会
- 丸全昭和運輸労働組合
- JFE スチール福山労働組合
- 全国グリーン共済会
- 総合商社マルチュウ(有)
- JFE スチール本社労働組合
- 全日産・一般業種労働組合連合会
- 三井造船労働組合連合会
- JFE スチール京浜労働組合
- 全労済神奈川県本部
- 三菱重工労働組合
- JFE プラント&サービス(株)
- (株)創土社
- (株)メイショー
- あしもりホームヘルパーステーション
- (有)田辺葬祭
- メディックエムエム(株)
- (有)あすなる
- 中央労働金庫
- (有)山岡葬祭
- (株)アトラクト
- (有)つばさ
- (株)有徳社
- 石川島播磨重工労働組合
- (有)つばめ
- (有)ユニックス
- (株)伊藤ビル
- 東京電力労働組合神奈川総支部
- (株)ライジング・セブン
- (株)エイセキ
- 東邦薬品(株)
- (有)ライフワーク
- JFE 物流(株)
- (株)富世
- (株)リアルエステート・エイジェンシー
- NTT 労組神奈川県支部
- トヨタ自動車労働組合
- (株)リンクス
- (有)笑日寿
- 日青鋼業(株)
- (有)レイルズ
- (株)大熊整美堂
- 日本基幹産業労働組合連合会
- 日本労働組合総連合会神奈川県連合会
- (株)オリーブ
- 日本基幹産業労働組合連合会神奈川県本部
- (株)YMT
- 川崎交通労働組合
- (有)博善
- (有)ピーチ・ケア
- 関東オートグラス(株)
- (有)ビックプレーン
- (有)クラスター
- 日の丸交通(株)
- (有)グローバルインフォメーション
- 不二交通(株)
- (有)藤間企画
- 交通労運関東地方総支部
- 富士交通(有)
- (有)サクセスワン
- (有)藤間企画
- (株)サクセスワン
- プリチストン労働組合
- (株)サクセスワン
- 平和交通(株)
- (株)サクセスワン

このコーナーでは当協会の法人会員を順次ご紹介します。



NPO法人 全国障害者福祉援護協会では会員を募集しております

CHALLENGE21 第15・16合併号

発行者: NPO 法人 全国障害者福祉援護協会
 編集人: 永田 近
 発行日: 2004年4月1日 第15・16合併号
 所在地: 〒221-0835
 横浜市神奈川区鶴屋町2-22-3 伊藤ビル
 TEL.045-411-0294 FAX.045-411-0295
 定 価: 200円

法人会員 1口
 5,000円/月
 個人会員 1口
 1,200円/月



指定の「加入申込書」で当協会にお申込ください。
 お問い合わせは「全国障害者福祉援護協会」事務局まで

TEL:045-411-0294
 ヨイヒトワフクシ

● 編集後記 ●

今年は第28回オリンピック大会が発祥の地ギリシャ・アテネで行われる。見る者に興奮と感動を与えそして脚本のないドラマを見せてくれる。それにしてもここ数年、競技大半のルールがめまぐるしく変わり「あれっ!なんだ?」なんてこともしばしば。競技をスムーズに進める、ということだけではなくテレビ放映用のための競技時間の短縮化もその理由の一つだそう。ルール改正は大切だがやっとならぬルールがいつの間にか変わる。競技者も大変だけれどそれを見る側も大変だ

T.S.